

第9回 世論・選挙調査研究大会

■大会テーマ■

「調査法の課題と対策 一新標準を目指す試み」

日時：2019年9月21日（土）13:00～17:30／懇親会17:45～

場所：毎日新聞社・毎日ホール（東西線竹橋駅直通・パレスサイドビル地下1階）

■ごあいさつ（13:00-13:10）

松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター長）

丸山 昌宏（毎日新聞社社長）

■第1部 発表（13:10-15:30）

（1）無作為抽出によるWEB式世論調査の可能性

萩原 潤治（NHK放送文化研究所・世論調査部）

（2）地図抽出による確率標本に対するネット調査 ー誰が調査に協力するのかー

飯田 健（同志社大学法学部） 池田 謙一（同志社大学社会学部）

西澤 由隆（同志社大学法学部）松林 哲也（大阪大学大学院国際公共政策研究科）

（3）アクセスパネルを利用したインターネット調査で選挙予測は可能か

ー2018年沖縄県知事選、19年山梨県知事選の事例ー

江口 達也（朝日新聞社世論調査部）

（4）質問・選択肢配置が回答に及ぼす影響 ー「目で見える」調査のバイアスをとらえるー

松田 映二（埼玉大学社会調査研究センター）

<休憩>

■第2部 パネルディスカッション（15:45-17:30）

「出口調査、世論調査、まだ大丈夫だったか？」

（1）当日出口調査の精度検証

事例報告：山下 洋史（中日新聞社）

（2）電話世論調査の精度検証

論点提示＋討論者：菅原 琢（政治学者）

討論者：堀江 浩（朝日新聞社） 大隈 慎吾（毎日新聞社）

福田 昌史（読売新聞社） 鈴木 督久（日経リサーチ）

総合司会：松本 正生（埼玉大学社会調査研究センター）

■懇親会（17:45）（場所：パレスサイドビル1階 PRONTO）